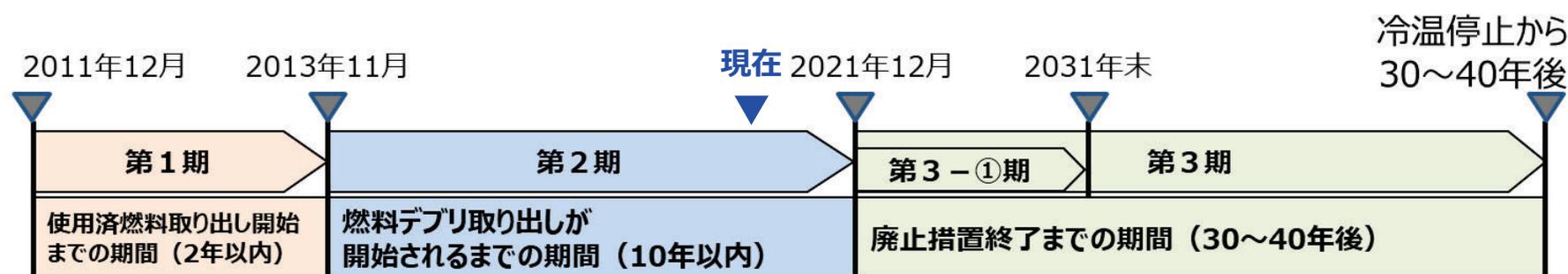


## 廃炉工程全体の枠組み



- 第1～3期という大きな期間区分に基づいた廃炉工程。
- この枠組みは、2019年12月に改訂された中長期ロードマップにおいても維持。
- 燃料デブリは2021年内に2号機から取り出しを開始予定。

※燃料デブリの取り出しは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、  
取り出し機器の開発が遅延していることから、1年程度後ろ倒しになる可能性あり。

# 廃炉に向けた 取組と進捗

## 周辺環境の影響低減状況について

陸

飛散防止剤のダスト保持効果実験の様子

飛散防止剤使用



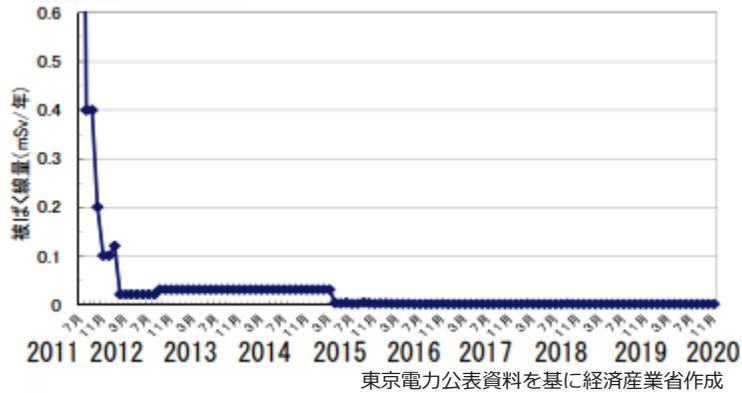
飛散防止剤未使用

飛散防止剤の散布により、瞬間風速50m/sまで飛散抑制効果があります。

福島第一原子力発電所の敷地構内をモルタルで覆い、放射性物質の飛散を抑制。

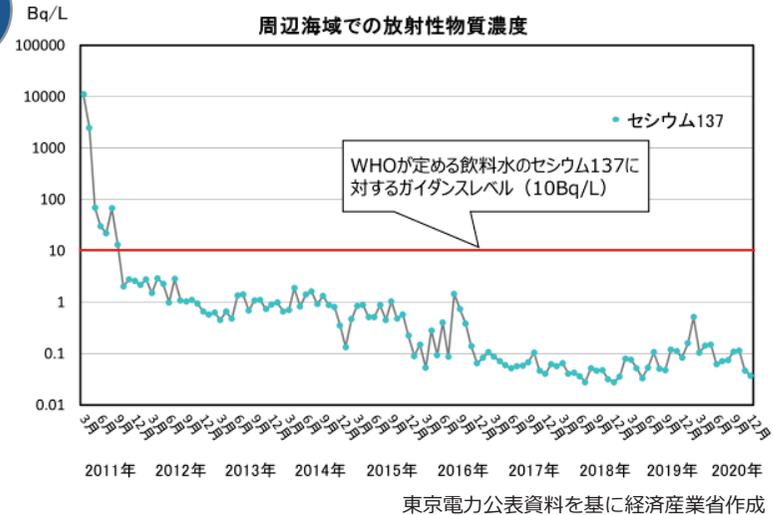


1～4号機原子炉建屋からの放射性物質（セシウム）による敷地境界における年間被ばく線量評価

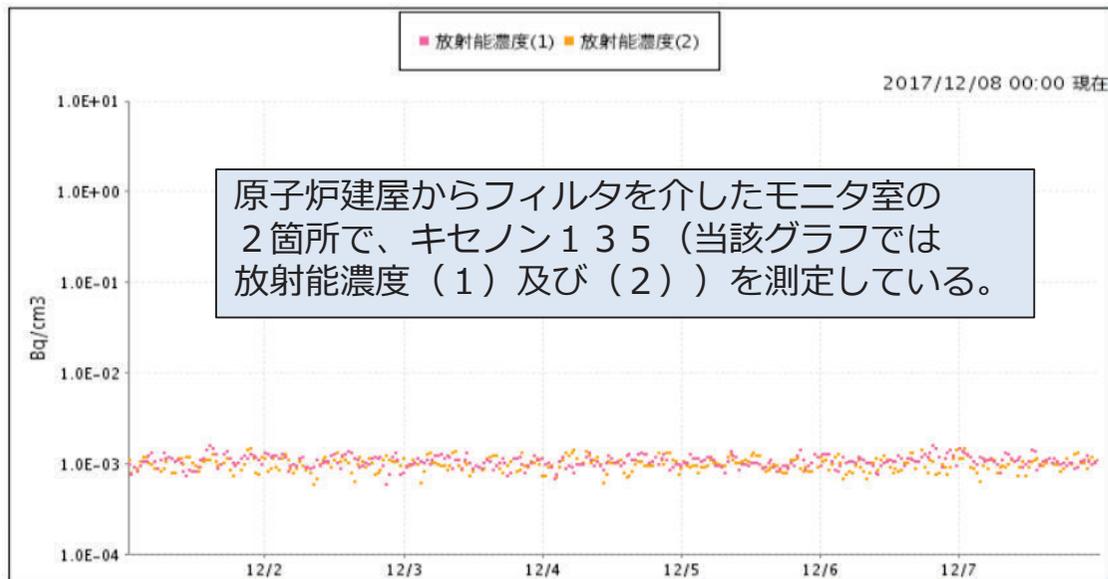
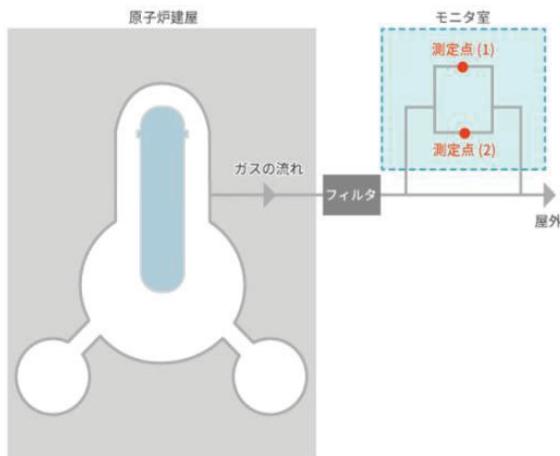


海

周辺海域での放射性物質濃度



## ■ 希ガスの発生量



東京電力公表資料を基に経済産業省作成

## ■ 耐震、耐津波への対策

東日本大震災と同規模の地震や津波、さらにはそれ以上の規模の地震が発生したとしても、原子炉建屋など重要な建物については、倒壊しない健全性がコンピューター解析などにより確認されています。

### 緊急時の電源確保

電源喪失時に備え、電源を多重化し、「電源車」・「ガスタービン車」なども用意しています。緊急時には、この車から注水設備に電気を送ります。



注水訓練の様子



電源車



消防車

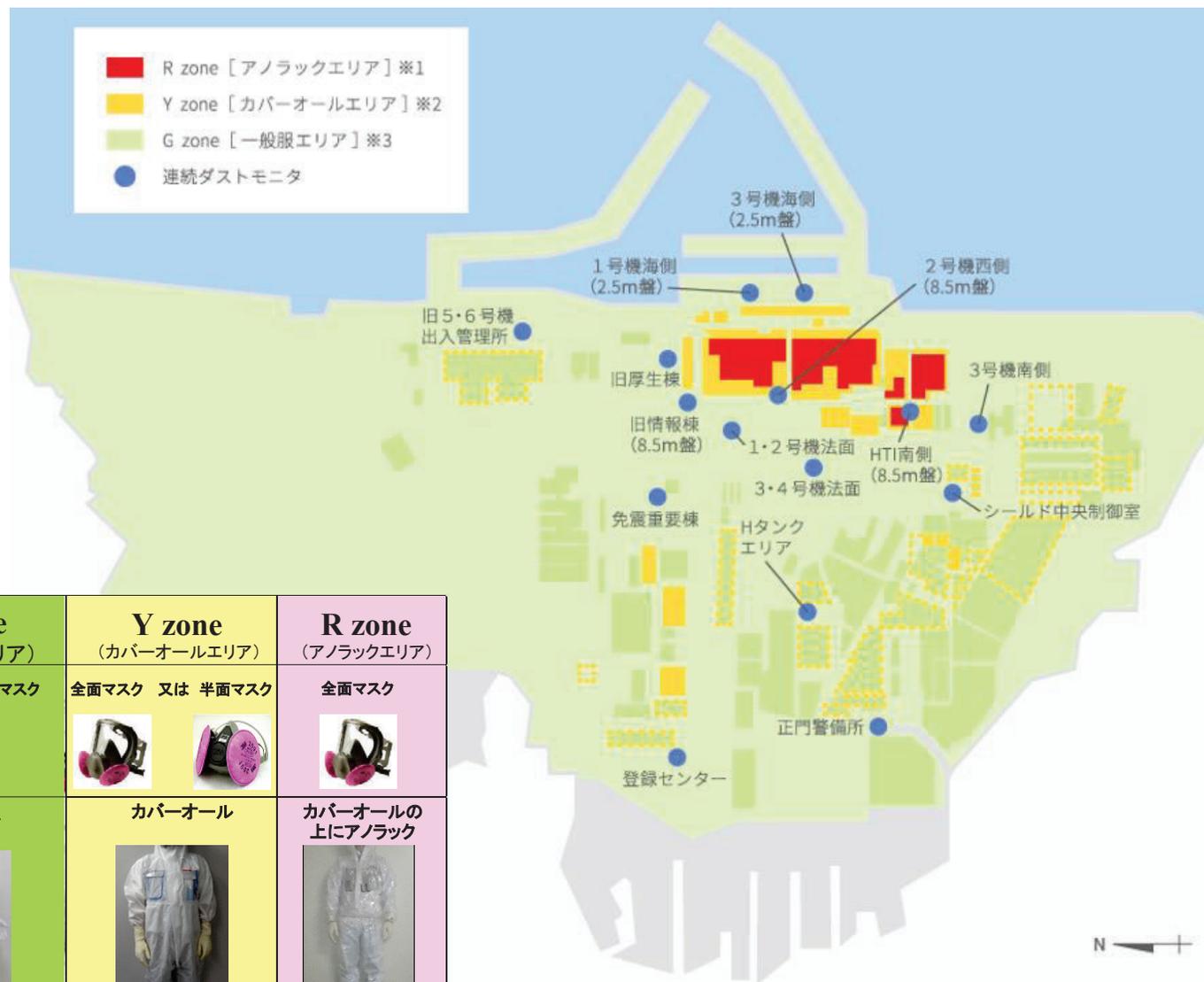
津波が到達しない海拔高台エリアに電源車等のバックアップ電源や、消防車等の注水手段を用意しています。



防潮堤(出典：東京電力HPより)

# 廃炉に向けた 取組と進捗

# 東京電力福島第一原子力発電所構内の 労働環境改善について



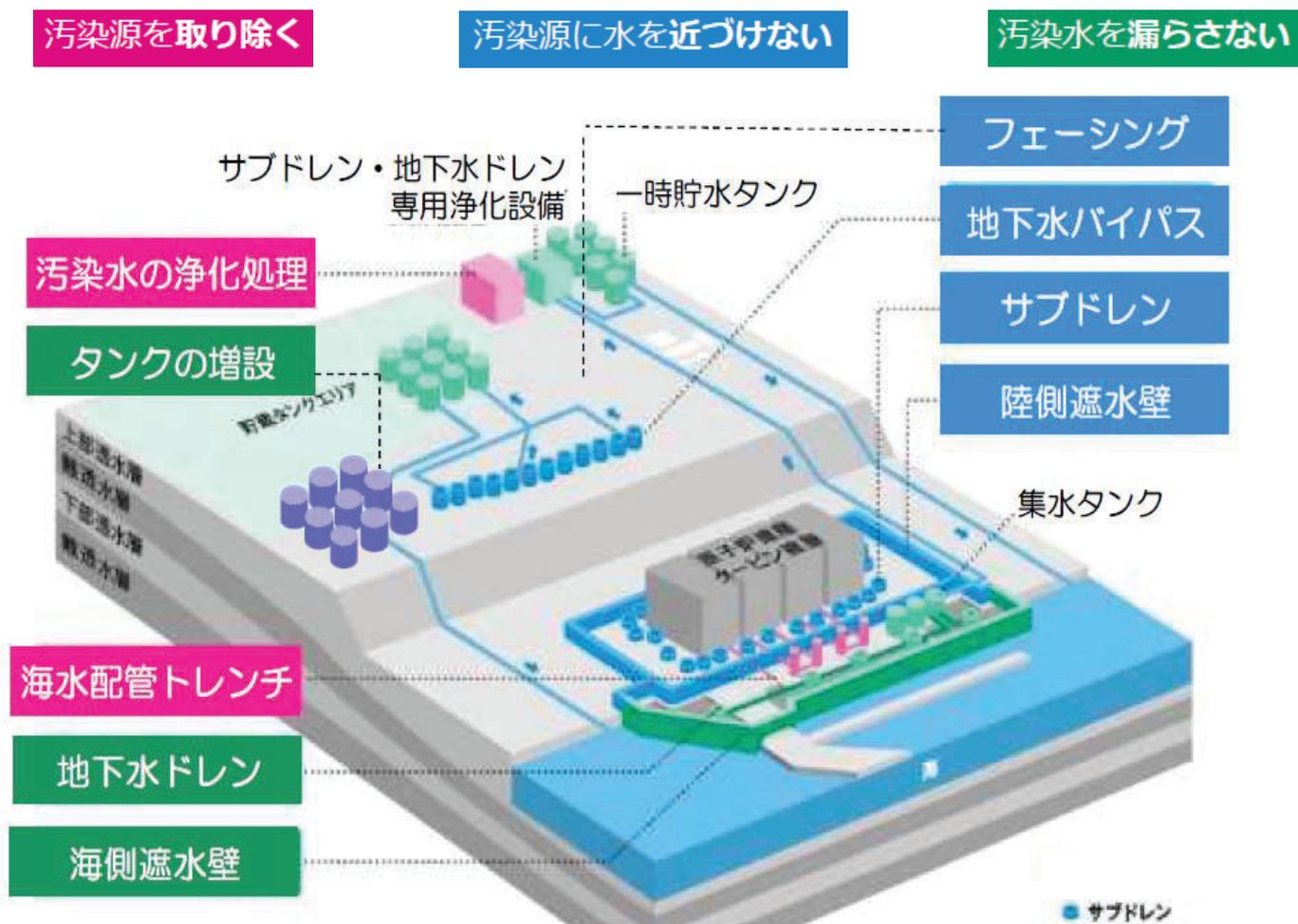
G zone (一般服エリア)	Y zone (カバーオールエリア)	R zone (アノラックエリア)
使い捨て式防じんマスク 	全面マスク 又は 半面マスク  	全面マスク 
一般作業服 	カバーオール 	カバーオールの上 にアノラック 

東京電力公表資料を基に経済産業省作成  経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

## 廃炉に向けた 取組と進捗

# 汚染水対策に関する取組

「汚染源を取り除く」、「汚染源に水を近づけない」、「汚染水を漏らさない」、  
という3つの基本方針に基づいて、予防的・重層的な対策を講じています。



東京電力の資料を基に経済産業省が作成



# 廃炉に向けた 取組と進捗

# 廃炉に関する取組の進捗

## 福島第一原子力発電所 1～4号機の現状について

- 1、2号機は、使用済燃料プール内の燃料取り出しに向けた準備作業中（オペレーティングフロアのカレキ撤去等）。3号機は、使用済燃料プールからの燃料取り出しを開始。
- 事故時に溶けて固まった燃料（燃料デブリ）は、2021年内に2号機で試験的取り出しに着手。その後、段階的に取り出し規模を拡大。



東京電力公表資料を基に経済産業省作成

